

修学旅行

10月2日から3泊4日の日程で、5年生以上の児童生徒を引率して修学旅行に行ってきました。世界最大の仏教遺跡であるポロブドゥール遺跡の見学や、銀細工、バティック、ワヤン作りなどたくさんの体験もしてまいりました。子供たちにとっては思い出に残る楽しい修学旅行になったのは間違いないのですが、私にとっては苦行の修学旅行でした。

<苦行その1>

修学旅行の前日からお腹の調子が悪く、見学場所に着くとすぐにトイレを探さなければなりません。健康管理の大切さも改めて感じました。

<苦行その2>

ご存知の方もたくさんいると思いますが、私は子供のころからずっと図工が苦手です。その私がバティック作りや銀細工、しまいには鞣した牛の皮に色付けをしていく体験までさせていただきました。

ほかの先生からの「校長先生がとても真剣に取り組んでいる姿は子供たちに伝わりました」との温かい言葉で、疲労感も吹き飛びはしたのですが・・・



銀細工体験



ポロブドゥール遺跡

バンドン地質学博物館

日本にはそんなに紹介されていないと思いますが、ここでは哺乳類や恐竜の化石、岩石、鉱物などのインドネシア各地の地質学に関する展示がされています。ジャワ原人に関する展示もあり、興味を引きます。そして、何と、ここにはティラノサウルスの骨格標本もあるので、恐竜マニアでなくとも、その大きさに圧倒されます。



ティラノサウルスの骨格標本

インドネシア語

インドネシア語を覚えるために、妻と私がそれぞれ週に1時間ずつ、大学の先生に家庭教師として来ていただいて教えてもらっています。学校から帰宅する時間が遅くなると、妻が2時間勉強することとなり、私との差は広がるばかりです。それでも、少しずつですが語彙は増えてきているようです。ただ、不思議なのは、インドネシア語の語彙が増えた分だけ、スペイン語を忘れていくような気がするのです。私の頭に入る外国語の単語数は決まっているのかも知れません。

ゴルフ

バンドン日本人会やPTAの男性組織であるマンゴー会主催のゴルフ大会が、これまでに3回ありました。ゴルフは必修とのことで、練習もしているのですが、パークゴルフも下手くそだった私は、なかなか上達しません。最高のハンディをもらっているにも関わらず、3回の大会中、2回が最下位でした。